

教会創立103周年

# 週報

2025年9月7日 5358週

## 【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

一ハレルヤ わたしの魂よ主を讚美せよ一

わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数が多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

## 巻頭言

牧師 加藤英治

### 教会暦の話⑤

#### 受難節の過ごし方についての提言を聞いて

受難節が大切であることについては、言をまちません。キリストの受難と十字架は、私たちのキリスト信仰の一つの大きな中心です。けれども、最近このような言葉を読みました。「クリスマス自体も、キリスト教暦の実質上の中心となり、いまや復活節をはるかにしのぐものとなった。それは新約聖書が強調するものと完全に逆行する。――さらに、四旬節（注 受難節のこと）、聖週間（受難週）、受難日をあまりにきつちり遵守するので、初日（イースター当日）を除けば、復活節（七週間続く）のためのものはやエネルギーが残っていない。しかし、復活節こそ中心でなくてはならない。復活節を除くなら、文字どおりと言えるほど、後には何も残らない。」（N.T. ライト『驚くべき希望』より）

このことを裏付ける数字として、『新生讚美歌』の、それぞれのテーマごとの曲数を調べてみました。すると、クリスマス（アドベントを除いても！）四十六曲、受難節（受難・十字架）二十三曲、復活節十四曲となり、先ほどの言葉を裏付けているように思えます。復活節が七週間もあるのに、たった十四曲では、歌う歌が足りません。

このことは、私たちの受難節とイースターの過ごし方に大きな問いかけを投げかけているように感じました。受難節の間、私たちはキリストの受難と十字架の思いをはせ、そのイエスの道行きの黙想と、私たちの罪の振り返りと悔い改めのためにこの期間を過ごしますが、それはどこまでもイースター、復活の喜びを目指しているのです。また、イースターそれ自体も、喜びと祝いが強調され、さらにその喜びが七週間にもわたって続くのだということ、私たちの礼拝生活・教会生活の中で表わしていけたらと思うのです。

## 日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax : 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



# ◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 島田利一兄  
奏楽 山下一恵姉

前 奏  
招 詞 ヨハネ 16 : 33  
頌 栄 667 (聖なるかな 聖なるかな)  
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)  
交 読 46 (平和)  
讃 美 296 (十字架のイエスを  
仰ぎ見れば)  
聖 書 ヨシュア 1 : 1 ~ 9  
(新共同訳旧 340p 口語訳旧 301p)  
祈 禱  
子どもメッセージ 加藤英治牧師  
讃 美 287 (主イエスこそわが生命) 聖  
歌 隊  
宣 教 「もう一人のヨシュアと共に」  
加藤英治牧師  
祈 禱  
讃 美 297 (主によりてあがなわる)  
献 金 祈り : 林田義勝兄  
(兄弟会)  
頌 栄 671 (ものみなたたえよ(A))  
祝 禱 加藤英治牧師  
後 奏  
報 告

## ◎ 今月の聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」  
(ローマの信徒への手紙  
12章15節)

## 今月の当番役員

木村正美 磯部みゆき

## 本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

木村正美(当番役員)

お花 : 酒井光子

主の晚餐式 11 : 50 ~ 12 : 05

配餐 : 山下 保 庄司まり子

田中由紀子 金井佳世子

常会 12 : 10 ~ 12 : 45

## ◎ 今週の集会 (9月7日 ~ 9月13日)

< 聖書 > ヨシュア 3 : 1 ~ 17

10日(水) 祈祷会 I 10 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

10日(水) 祈祷会 II 19 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

## 今週の聖書日課と祈り

7日(日) ヨシュア 1 : 1 ~ 9

満江香代子

8日(月) 箴言 3 : 6

満嶋 稔

9日(火) 詩編 119 : 105

三ツ股康恵

10日(水) ローマ 8 : 31

持田文重

11日(木) マルコ 11 : 24

持田喜明

12日(金) ヨハネ 14 : 6

守田牧子

13日(土) マタイ 19 : 26

安河内眞智子